

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 6 月 7 日

評価対象事業		評価者	道水路管理課長	田中 新一
都整-07	街路照明灯事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	道水路管理課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	道路整備	施策の方針	道路・橋りょうの整備・維持管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	夜間等の通行車両や市民等の安全確保のため。
効果	道路の街路照明灯の良好な機能維持を図る。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

既存の街路照明灯の維持修繕等を行い、市民が安全な生活を送れるまちづくりを図った。  
安全な通行を確保するために街路照明灯の設備整備を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	街路照明灯維持管理 事業	電気料、点検業務、維 持修繕等	省エネルギー・LED化 (基)	1,139 / 1,275 32,755 / 31,851	1,276 49,931	89.33%	
02	街路照明灯設置整備 事業	街路照明灯LED賃貸 借料	—	- / - 4,568 / 4,653	- 7,123	-	
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源 内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	30,197 / 14,015	29,015		
			一般財源	7,126 / 22,489	28,039		
			事業費の合計(千円)	37,323 / 36,504	57,054		
			人件費(千円)	3,165	3,204		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.8	0.4	0.4			
会計年度任用職員	0.0	0.1	0.1			

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	街路照明灯維持管理事業	街路照明灯のエネルギー効率を向上することで、電気料を節約でき、点検費用等を捻出できるようにする。また、未達のものについては、令和4年度にLEDリース化を予定。	道路の安全性と快適性を確保するために不可欠である。	—
02	街路照明灯設置整備事業	要望を受け、必要性を踏まえて設置を進めるものであり、指標設定がなじまなかったため未設定。	道路の安全性と快適性を確保するために不可欠である。	—
03				
04				
05				
06				
07				
08				
09				
10				

### (2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	2 事業費の削減が検討できる事業がある
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	2 外部化に向けて検討できる事業がある
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	4 法令等により、市に実施が義務付けられている
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入
		△-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施
		△-2 市民等と協働して実施する事業はない
		協働実施済の場合のパートナー

### (3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>新設要望への対応や経年劣化への対応としての費用の増加が考えられるが、リース方式でLED化することにより、電気料の節約を図り、予算規模を維持する。経済効率性に優れたリース方式を追加採用することにより、既に設置されている全ての街路照明灯のLED化を行うなど、電気料を節約することにより事業費を削減する余地はある。削減した事業費を支柱等の補修等に使用し、予算規模を維持していく。</p>					

**【参考】**

**◎事業実施に係る主な指標**

指標(単位)	省エネルギー・LED化(エネルギー効率に優れた街路照明灯への交換)						単位	基
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
街路照明灯のエネルギー効率を向上することで、電気料を節約できるため。	目標値	1,274	1,275	1,276				
	実績値	1,136	1,139					
	達成率	89.2%	89.3%					

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

**◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)**

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--